

☆令和6年度 全国学力・学習状況調査について

4月18日、6年生を対象に実施された全国学力・学習状況調査については、その結果がすでに新聞・テレビ等で発表されました。個別の結果を返却させていただきます。当日は、国語・算数の2科目を実施しました。いずれの教科でもそれぞれに基礎知識を問う問題と、活用力をみる問題が出題されました。また、子どもの学習や生活状況を調べる児童質問紙を4月25日にオンラインで行いました。その分析結果をお知らせし今後の学習に生かしていきたいと思います。

○国語について

平均正答率は、全国・県平均とほぼ同じでした。「漢字を文の中で正しく使う」「登場人物の相互関係や心情などについて、描写を基に捉えることができるかどうかをみる」の内容の問題では、全国・県平均を大きく上回る結果でした。

一方で、「書くこと」の領域で少し課題が見られました。特に、「目的や意図に応じて、事実と感想、意見とを区別して書くなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することができる。」について課題がみられました。目的や意図に応じて、集めた材料を分類したり関係付けたりして、伝え合う内容を検討する活動を通して、相手がより理解できる文章になるように取り組んでいきます。また、理科・社会などでも表やグラフを活用しながら事実と感想を区別して書く活動を取り入れ、必要な力を伸ばしていきます。



○算数について

平均正答率は、全国平均を上回る結果でした。領域ごとに見ると、「変化と関係」は全国・県平均とほぼ同じで、「数と計算」、「データの活用」の領域で全国平均を上回る結果となりました。例えば、①問題場面の数量の関係を捉え、式に表すことができるかどうかをみる②除数が小数である場合の除法の計算をすることができる③数量の関係を、□を用いた式に表すことができるかどうかをみる④示された情報を基に、表から必要な数値を読み取って式に表し、基準値を超えるかどうかを判断できるかどうかをみるなどです。

一方で「図形」の領域で課題が見られました。例えば、球の直径の長さとは立方体の一辺の長さの関係を捉え、立方体の体積の求め方を式に表すことができるかどうかをみる問題です。立方体の体積を求める式や円周や直径を求める式は理解できていますが、実際に活用することが難しいです。学習の中で2つの図形を合わせた複合問題に取り組ませたり、公式の求め方など根拠を明らかにしながら説明したりする活動を取り入れ、児童の理解を深めていきます。

○児童質問紙について

生活面で「いじめはどんな理由があってもいけないことだと思いますか」、「人の役に立つ人間になりたいと思いますか」「先生はあなたの良いところを認めてくれますか」「友達関係に満足していますか」の質問に対して、90%以上の児童が「当てはまる」と回答しており、特に「学校に行くのが楽しい」の質問に対しては、全国・県平均よりも高くなっていました。一方で、普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、テレビゲーム（コンピュータゲーム、携帯式のゲーム、携帯電話やスマートフォンを使ったゲームも含む）やSNSや動画視聴などをしますかの質問に対して4時間以上と答えた児童が31.1%と全国平均より大きく上回っていました。

学習面では、「教科の勉強は大切だと思っている」「問題に対して最後まで解こうと努力した」が90%以上であるが、一方で学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか（学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間、インターネットを活用して学ぶ時間も含む）、の質問に対し、「全くしない」と回答した児童が14.8%と全国平均を大きく上回っていました。さらに、休日に関しては34.4%と特に大きく上回っていました。